



全国優良経営体表彰で

経営局長賞を受ける

匂坂隆是さん

さぎさか たかじ



PROFILE

さぎさか たかじ(合戸)
イチゴ農家を始めて52年。これまでに数々の賞を受けており、平成25年には全国表彰である伊勢神宮新穀感謝祭でも受賞している。
本ページ背景のイチゴの寄せ書きは、研修生が匂坂さんへの思いを書いてくれたもの。



全国優良経営体表彰を受賞

合戸地区にある農園「さぎさかファーム」でイチゴを栽培している匂坂隆是さんが3月29日、国から「全国優良経営体表彰 担い手づくり部門 経営局長賞」を受けた。この受賞は、新規就農希望者の研修受け入れや独立後の支援の功績が認められたことによるもので、匂坂さんは「長年の取り組みが実を結びました。身をもって味わう努力や苦労は、次の年の肥やしになるものです」と喜ぶ。

30人以上の新規就農者を育成

匂坂さんは県の新規就農支援事業の開始に伴い、平成16年から研修生の受け入れを開始。これまで33人の農業者を育て、20人以上が県内外で独立し立ち上げた。研修生が独立する際は、匂坂さん自らが地権者に掛け合って農地をあっせんし、その後の技術指導にも力を貸している。現在も2人が匂坂さんの下でイチゴ栽培のノウハウを学んでいる。匂坂さんは「私がこうして研修生を受け入れることができて

いるのは、応援してくれる地域の皆さんのおかげです。新規就農者の一人一人にまた違った土地を用意するのは大変なことなんです。また、自分を支えてくれる妻や従業員にも感謝しています」と話す。

教え子が開いてくれる「隆是会」

年に一度開催される「隆是会」では、匂坂さんとその教え子がイチゴ作りの手法や近況を語り合う。匂坂さんは教え子に対し、「皆さんは、今後この地域を担っていく存在です。これからもイチゴ栽培に対する関心を高め、絶え間ない努力で自分を高めてください」とエールを送る。

御前崎の「凄腕イチゴ農家」である匂坂さん。これからも質の高いイチゴと人を育成し続ける。



▲収穫したイチゴを笑顔で持つ匂坂さん(左)と妻のかげさん(右)と研修生の皆さん